

進路「夢」実現



進路だより 第4号
平成31年3月5日発行
大笹生支援学校進路指導部

保護者の皆様には、日頃から本校進路指導への御協力に対して、深く感謝申し上げます。

本年度は、小学部12名、中学部15名、高等部44名の児童生徒がそれぞれの学部を卒業します。

高等部卒業生もほぼ進路先が決まり、それぞれ社会人として巣立ちます。平成30年度各学部卒業生の進路先状況は、以下の通りです。

●小学部卒業生 12名

進学(12)	本校中学部進学予定(12)
--------	---------------

●中学部卒業生 15名

進学(15)	本校高等部進学希望(15)
--------	---------------

●高等部卒業生 44名

分類	進路先区分	人数	進路予定先
進学	職業能力開発校	1名	・宮城障害者職業能力開発校
就職	一般就職	8名	・株式会社東京インテリア家具福島店 ・福島製鋼株式会社 ・株式会社ダイユーエイト保原店 ・社会福祉法人陽光会 特別養護老人ホーム陽光園 ・メディカル・ケア・サービス福島株式会社 ・愛の家グループホーム福島渡利 ・株式会社いちい庭坂店 ・株式会社ダイユーエイト桑折店 ・株式会社川俣町農業振興公社
障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業所	就労移行支援	1名	・株式会社 manaby 福島事業所
	就労継続支援B型事業所	25名	・合同会社 アールプラスワーク ・ベジワーク本内(2名) ・株式会社ラポール泉 アットホーム ・社会福祉法人ひろせ 工房ひろせ ・NPO法人福島市あらい福祉会 ワークセンター歩 ・株式会社アイエスエフネットライフ福島 ・社会福祉法人大生福祉会 大生信夫の里(2名) ・社会福祉法人けやきの村 けやきの村(2名) ・NPO法人ふくしまウォームネット 杜の花 ・一般社団法人 まちなか夢工房 ・一般社団法人 笑心 ・社会福祉法人しのぶ福祉会 あづま授産所(2名) ・NPO法人つくしの里福祉会 つくしの里 ・株式会社ケアサポートそら ・NPO法人えんじょいらいふ福祉会アートさをり(2名) ・株式会社福島福祉カレッジ(2名) ・NPO法人ポネール 福祉ハウスポネール ・社会福祉法人あぶくま福祉会 ほどはら授産所(2名)
	生活介護事業所	6名	・社会福祉法人つどい もちずりワーク ・社会福祉法人ひろせ 生活介護事業所さくら ・社会福祉法人つばさ福祉会 父の夢(2名) ・社会福祉法人陽光会 きらら(2名)
	障害者支援施設(入所型)	1名	・福島県大笹生学園(入所型児童施設で待機)
	その他	未定	2名

高等部卒業生から

高等部3年1組 R. S

私は、高等部卒業後、「株式会社 東京インテリア家具」に就職することになりました。今年度の2回の現場実習でお世話になり、主に商品の梱包や組み立ての仕事をさせていただきました。担当の方や社員の方々から、お客様に対する接客の仕方や仕事を手際よくこなすことの大切さを学び、とても良い経験をさせていただきました。ぜひ、ここで働きたいと強く思いました。就職したら健康に働けるよう規則正しい生活をするとともに、お客様に喜んでもらえるよう、丁寧な仕事を心がけたいと思います。いつも笑顔で接し、あいさつができる社会人として頑張りたいと思います。

高等部3年2組 M. A

私は、卒業したら宮城県障害者職業能力開発校の総合実務科に進学します。進学後は、物流ワークコースで勉強をし、ホームセンターや物流センター業を想定した、運搬・ピッキング・仕分け・荷造り等の商品管理や清掃に関する知識と技能を身に付けます。また、清掃作業実習や商品管理実習などの訓練にも取り組みます。

私は、この学校への進学を希望した大きな理由は、挑戦したいと考えたからです。今までやったことのない事にもチャレンジし、一年間たくさんのことを学びたいと思っています。

フレッシュ就労体験を終えて

高等部1年1組 A. O

私は、にじいろ工房でフレッシュ就労体験をさせていただきました。期間は、1月28日から2月1日までの5日間でした。初日は、緊張していて何の仕事をするのか不安がありましたが、職員のみなさんが優しく教えてくださりました。

仕事内容は野菜の皮むきやみかんの箱詰めなどです。実習をして大変だと思ったことは果物や野菜などが入った重い箱を運ぶことでした。働くためには体力が必要だと感じました。また、相手に聞こえるような声でのあいさつや返事、報告をすることが大切だと思いました。

今回、実習で学んだことを今後の学校生活に生かしていきたいと思っています。

高等部教諭 志賀 真実

フレッシュ就労体験では、就労継続支援A型事業所 Café 桑の実様、就労継続支援B型事業所にじいろ工房様のご協力のもと、高等部1年生の4名が5日間実習を行わせていただきました。就労継続支援A型事業所 Café 桑の実様では、提供するサラダの調理作業などをさせていただきました。就労継続支援B型事業所にじいろ工房様では、野菜の皮むきやみかんの箱詰めをさせていただきました。各実習先より最終日にはあたたかい励ましの言葉をいただき、生徒にとって何よりの励みになったようです。

今後は、今回の経験をもとに2年生での現場実習や卒業後の進路先の選択など卒業後の社会参加に向けた課題を探りながら、これからの取り組みにつなげていきたいと思っています。最後になりましたが、実習を受け入れ、また、ご指導くださいました事業所の方々に感謝申し上げます。

今年度の進路指導を振り返って

小学部教諭 中村 里永子

大好きな友達や先生、身近な憧れの存在がいることは、子どもたちの成長の原動力です。友達を見て自分もやってみたいと挑戦し、難しかったことも乗り越えていく姿にはいつも驚かされます。「やってみたい」「楽しい」そんな心が動く学習活動を、大好きな人と共有したことで、感情をさらに豊かに表出できるようになった児童もいます。また、太陽祭実行委員で中高の生徒と活動したことで「ああいう先輩になりたい」と憧れを抱いた児童や、高等部のサービス班の作業を体験し“カフェで働きたい”と将来の夢をもつことができた児童もいました。校外学習の郵便局見学において、大切な手紙を届けることを誇りとして働く職員の方の姿を実際に見たことで、校内での年賀状配達に責任をもち有用感を得ながら生き生きと取り組むこともできました。学級・学年・学部を越え、そして校外に出て学ぶ中で、子どもたちはたくさんの人たちとかかわり、「自分もやってみたい」「あんなふうになりたい」と思いや願いをもって学び合い、自分の世界を広げているのを感じます。中学部でも大切な仲間と共に、なりたい自分に向かって一歩一歩、歩んでいってほしいと思います。

中学部教諭 塚原 祐子

中学部では進路学習の一つとして、作業学習の中で、木工班、家庭生活班、紙工班の3つの作業班に分かれ、1年生から3年生が協力して製品づくりや販売活動を行ってきました。11月には、校内実習があり、長い時間の作業学習を2週間経験しました。その中で、働くことの厳しさや喜びを知ることができました。

また中学部3年生では、「働くことについて考えよう」の学習の中で身近な大人にインタビューをして、「働くために必要なこと」や「どんな大人になりたいのか」等、自分の将来について考えました。10月には、本校高等部の作業学習の様子を見学しました。どんな仕事をしているのか身近で見たり、作業学習に向かう姿勢や態度についてお話を聞いたりすることができました。生徒からは、「高等部に入ったらクリーン活動班に入りたい。」などの希望も聞かれるようになりました。

生徒一人一人が高等部生活や新しい生活に夢と希望を持って、充実した生活を送ってほしいと心から願っています。

高等部教諭 阿部 広美

高等部の3年間は、進路を決めていく大切な時期だと思います。将来、どんな生活をしたいのかを思い描きながら、1年生の時から、作業学習や校内実習、福祉・一般事業所の見学をしたり、2年生では、校外での産業現場等における実習を新たに体験したりしながら、「働く」生活を意識してきました。3年生では、これまでの現場実習や作業学習の経験を踏まえ、自分に合った仕事を模索し続けました。

この3年間に培った様々な経験は、これからの生活に役に立ちます。素敵な笑顔、明るい挨拶、人を思いやる優しい心、素直な心、感謝の気持ちなど、どれもが一人一人に身についています。自信を持ってそれぞれの新しい生活をスタートさせてください。一生懸命に働いている社会人になった皆さんと、またお会いできる日を楽しみにしています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、常に多くのご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

